



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和6年4月11日
盛岡市保健所
指導予防課

市政記者クラブ加盟社 各位

感染性胃腸炎の集団発生について

次の施設において、「感染性胃腸炎」の集団発生事例（2件）がありましたのでお知らせします。

1 盛岡市内の教育・保育施設（利用者・職員 150名程度）

(1) 患者の状況等

- ア 4月2日（火）に施設から、複数の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の報告。
- イ 保健所が調査を実施し、3月22日（金）から4月4日（木）までに22名（利用者21名、職員1名）に下痢・嘔吐痛等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復または回復傾向。

(2) 原因究明の調査等

- ア 医療機関を受診した有症者1名がノロウイルスと診断されていたことを確認。
- イ 保健所において感染経路等を調査したところ、排泄処理後の手洗いに一部不十分な点があったと推察されたことから、施設に対し、手洗いの徹底等二次感染予防対策について指導。
- ウ 給食を原因とする食中毒の可能性は低いと判断。

2 盛岡市内の高齢者施設（利用者・職員 100名程度）

(1) 患者の状況等

- ア 4月3日（水）に施設から、複数の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の報告。
- イ 保健所が調査を実施し、3月31日（日）から4月3日（水）までに10名（利用者6名、職員4名）に下痢・嘔吐痛等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復または回復傾向。

(2) 原因究明の調査等

- ア 医療機関を受診した有症者2名がノロウイルスと診断されていたことを確認。
- イ 保健所において感染経路等を調査したところ、嘔吐処理の手順や消毒に一部不十分な点があったと推察されたことから、施設に対し、職員間で処理手順の確認と共有を行い、手順書を整備することや、環境消毒の方法等二次感染予防対策について指導。
- ウ 給食を原因とする食中毒の可能性は低いと判断。

3 保健所からのお願い

盛岡市内における感染性胃腸炎の定点医療機関当たりの報告数は、2024年第14週（4月1日から4月7日まで）に8.43人となり、前週（10.14人）より減少しています。社会福祉施設はもちろん、各家庭においても、調理や食事の前、トイレやオムツ交換の後の手洗い等を心がけ、感染予防に引き続き注意しましょう。

(1) 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状を主とする感染症です。

原因としては、細菌性のものとウイルス性のものがあり、ウイルス性のもののうち、ノロウイルス及びロタウイルスが多く、毎年秋から冬にかけて流行します。

(2) 予防方法

- ・ トイレやオムツ交換の後、調理前、食事前には石けんと流水で十分な手洗いを行う。
- ・ 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業を自粛する。
- ・ 調理する場合、加熱が必要な食品は85～90度・90秒以上で十分加熱する。
- ・ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクや使い捨て手袋を用いて片付け、嘔

吐した場所や使用した器具を塩素系漂白剤で消毒する。

- ・ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

(3) 感染性胃腸炎の集団発生状況

区 分	盛 岡 市				岩 手 県 (盛岡市含む。)			
	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウ ウイルス等)	計	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイ ルス等)	計
令和6年4月 ～現在	2	0	1	3	2	0	1	3
昨年同期 (令和5年度)	1	0	0	1	3	0	0	3

【担当：指導予防課長 佐々木 正仁 電話：019-603-8244】